

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |          |                                                                                             |                                                                                  |                                                                                                |                |
|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題                                                                                | 目標                                                                               | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                                                             | 目標達成に<br>要する期間 |
| 1        | 35       | 災害時の緊急連絡や避難誘導がより早くスムーズに出来るようにする為、居室の利用者様がどのような身体状況(自立歩行や車イス使用等)なのか、救助する際にすぐにわかるような工夫が必要である。 | 職員が利用者様の身体状況を把握することによって、避難誘導がスムーズに行うことが出来るようになる。                                 | 居室の配置図に各利用者様の身体状況がわかるように記入し、非常対策委員会のファイルに閉じておくと共に、居室の表札などに色分けシール等つけてわかるようにしておく。                | 3ヶ月            |
| 2        | 36       | トイレ、浴室の使用中に誤って開放した場合に備えて、外からの視線を覆い、遮断できる暖簾の活用等の工夫が必要である。                                    | 職員がプライバシー保護の意識を高め、他の利用者様が誤って使用中に解放されたりしされないように見守りし、もし誤って解放してもプライバシーの確保が出来るようになる。 | 暖簾等を取り付けて謝って解放しても見えないように工夫していく。出入りの際の引っかけたり、邪魔にならないようにサイズ等を検討する。                               | 2ヶ月            |
| 3        | 49       | 車両や運転手手配の状況等で外出機会が制限される懸念があるので、希望される外出機会が増えるようにしていく工夫が必要である。                                | 利用者様が満足していただけるような外出の機会や日常的な外出の機会を増やす。                                            | 運転手等の確保ができるよう行事計画を月間計画に組み入れるように早めに立てる。また、他部署とも連携できるように提案していく。また、少人数でも出かけられるような喫茶店ツアーなどを企画していく。 | 2ヶ月            |
| 4        | 54       | 写真や作品を壁に掲示したい利用者には、より自分好みの部屋作りができるようになる工夫が必要である。                                            | 入居者様が生活していることを実感できるように環境整備し、居心地のよい居室空間にする。                                       | 各利用者様の担当者を決めて、各ご家族様、ご本人様とも相談しながら、居室の空間をより利用できるようにボードや家具等の使用を検討し、その方の好みに合うようにしていく。              | 12ヶ月           |
| 5        |          |                                                                                             |                                                                                  |                                                                                                |                |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。